

ishinkai [シンカ]

人と人、医師と医師会をつなげ、これからも進化し続ける

診療科ならびに新任医師のご紹介

今年度の新任医師に、抱負や意気込みなどを語ってもらいました。



循環器内科

医長
内門 義博 (写真左)

以前勤務していた県立北薩病院では、特に高齢者に対する医療を学ぶことができました。今回、鹿児島大学の心不全グループで学ばれた川畑先生と一緒できる機会を得たことで、自分の専門分野をより強化し、患者さんに提供できたらと思っています。診療では患者さんの背景まで含めて診ることを心がけてきました。家族構成をはじめ、内服状況や誰が服薬を管理しているのかなどにも少しずつ踏み込むことで、服用ルールを遵守いただくことにもつながっていくでしょう。患者さんの性格も踏まえつつ、考えを尊重しながら診療していきたいです。患者さんの状態が悪化する前に、早めにご相談いただければ柔軟な対応がしやすくなるため、地域の先生方とは密に連携を取っていかれたらと思っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

部長
川畑 孟子 (写真右)

前任地の今村総合病院では、さまざまな併存疾患をお持ちの救急患者さんもよく診ていました。退院後はご自宅に帰りたいと望まれる方が多く、それがかなわない場合でも、より良い人生を送っていただくための選択肢を考え、できるだけご要望に沿えるよう努めてきました。当院でもご家族の思いに配慮しながら、まずはご本人の気持ちを大事にしてサポートできたらと思っています。そのためにも院内の先生方のお力をお借りし、また他の医療機関の先生方とも連携していけたら幸いです。今後は心不全の患者さんのさらなる増加が予想されるため、生活習慣や運動サポートにも目配りした医療を提供したいと考えています。将来的には外来でも一人ひとりに適切なりハビリを提案し、心不全を繰り返さないための教育や地域連携も進めていけたらと思っています。

診療科ならびに新任医師のご紹介

糖尿病内分泌内科

医長 大重 剛志

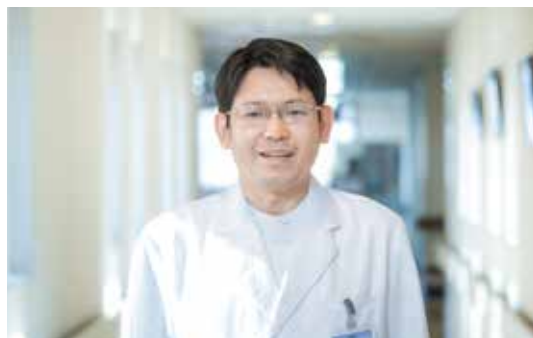
高齢化に伴い、糖尿病は診療ニーズが高い疾患です。当院には循環器内科や脳神経内科もありますので、合併症の予防や治療もスムーズに進めていけるのではと思っています。他科との連携による早期対応に加え、院内で治療が完結可能な体制であることは患者さんにとっても望ましい環境でしょう。前任地の寺田病院でも地域の先生方と医療連携を図ってきましたが、私が介入して良くできるのであればぜひお役に立ちたいと思います。より多くの先生と連携していくことが大切だと考えていますので、治療で難渋されていたり、もう少し治療を強化したりしたいという患者さんがいらっしゃれば、糖尿病はもちろん、循環器や神経領域も含めてご紹介いただければ幸いです。



脳神経内科・総合内科

部長待遇 田邊 肇

前任地の川内市医師会立市民病院は脳卒中診療が主体でしたので、神経難病や総合内科が中心の当院ではより幅広い疾患を診られると感じています。教育面などにも力を入れていきたいです。できるだけ受け入れを断らず、地域に選ばれる病院にしていけることが目標です。マンパワーが充実し、比較的じっくり診られる環境ですので、その分紹介患者さんに還元していけたらと思っています。



寺原 真咲

当院に入職する前は鹿児島大学病院で勤務していました。以前は複数の医師によるチームの一員として診ていたので、これからは自分で決断する場面が増えてくるでしょう。さらに知識や経験を培い、適切な判断ができる医師になれたらと思います。心がけるのは、担当患者さんが「他の先生のほうが良かったのでは」とならないようにしっかり診ることです。安心していただけるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



ホームページ
はこちら

ishinkai

鹿児島市医師会病院 医療連携だより『シンカ』 2025年5月春号

発行／鹿児島市医師会病院

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号 TEL：099-254-1125 / FAX：099-259-1694

制作／株式会社ギミック ドクターズ・ファイル編集部

